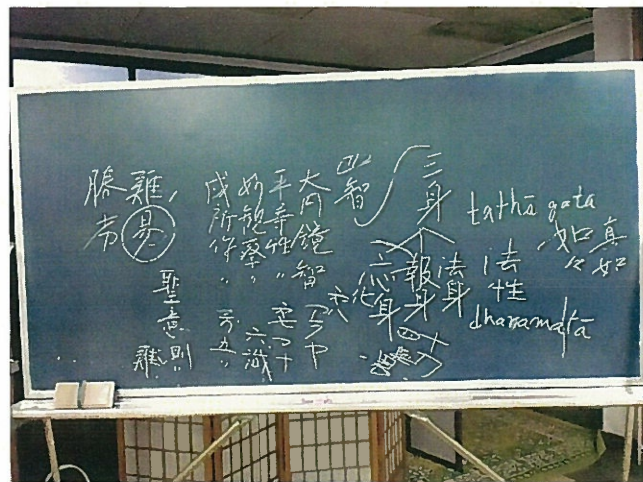


平成26年12月20日（土）の「仏教女性の集い」



朝から冷たい雨が降る中にも関わらず
大勢の参加者が集まり、「仏教女性の集い」
は開催されました。



本日のお話は前回のお茶席での話の中にあつた〔如如「如来如去」〕の話から、
仏教学のエッセンスのお話をして頂きました。

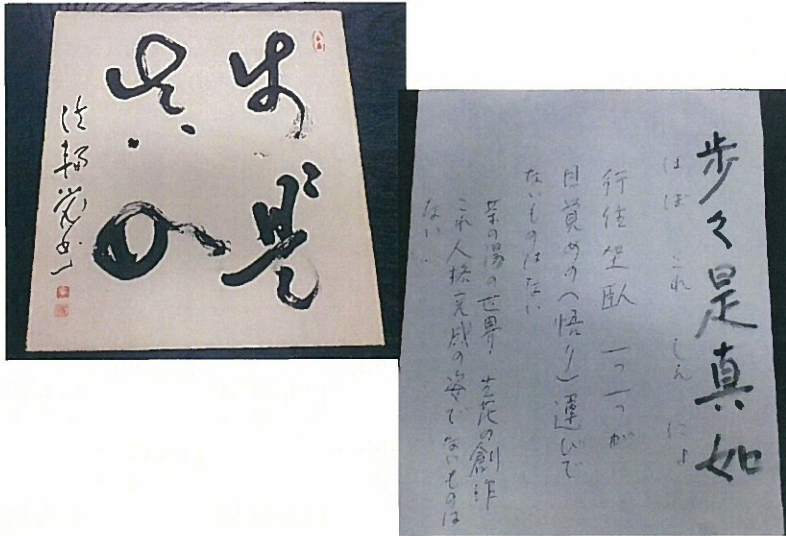
法然上人は、なぜ念佛だけを選びとられたのか？「本願に依るが故に」
「難易勝劣」のお話や「内証外用」のお話もなされていました。
仏教の修業はとても厳しく、何億光かかっても到達できないかもしれないが、舟に乗せていって
もらえば、皆が容易く向こう岸へ連れて行って下さる。簡単だから劣っているのではなく、
南無阿弥陀仏の中に「四智・三身・十力・四無畏」入っているから、南無阿弥陀仏でその世界が
開ける。本意を知って行く。仏教学は学べば学ぶほどに奥深いものです。
と、一年の締め括りにとても有り難いお話をして頂きました。

(参加者感想 K. O)



本日のお菓子は「^{きまもり}木守り」です。

梅辻先生が、「たくさんに実った柿を全て取ってしまう
のではなく、来年も実を付けて下さいと願う思いで、一
つ、二つ残しておく柿の事を「木守り」と言うん
ですよ」と説明をして下さいました。



座談会では今日の講義にもありました、「如如」に関するお話が出ました。先月の座談会の席で話された「真如」に関連付けて、南先生が七十年ほど前に、奈良、法隆寺近くの法輪寺のご住職にいて頂かれた色紙をお持ち下さり一同拝見致しました。

歩々是真如

行住坐臥一つ一つが目覚め（悟り）の運びにないものはない。
茶の湯の世界、生花の創作 これ人格完成の姿でないものはない。

平成 26 年の「仏教女性の集い」は近藤先生を始め、先生方のご指導の下、無事に終了致しました。27 年も実りの多い一年になりますようにお念仏に精進をして行きたいと思ひます。

次回の「仏教女性の集い」は平成 27 年 1 月 17 日です。

「仏教女性の集い」は毎月第 3 土曜日、1 時～4 時
参加費 1,000 円 宗教・宗派は問いません。
条件は女性であることだけです。
多数のご参加お待ちしております。
市バス[知恩院前]下車、東へ徒歩 150m
『吉水尼僧庵』（旧尼僧道場跡）で開催致しております。
問い合わせは 隆彦院 075-561-7581 まで



「仏教女性の集い」の様子は浄土宗吉水会のホームページに掲載しております。

<お知らせ>

近藤先生がご法話下さいました法然上人御法語「前編」の刊行が遅れておりましたが、ようやく完成致しました。
お問い合わせは、隆彦院 075-561-7581 まで